



2020年11月18日【第1190回】



クラブ会長ターゲット
「会員増強なくしてクラブ繁栄なし」
"If members don't increase,
club won't prosper."
2020-2021年度
東京臨海ロータリークラブ会長
佐久間 裕章



国際ロータリーテーマ
「ロータリーは機会の扉を開く」
"Rotary Opens
Opportunities"
2020-2021年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

創 立 : 1994年8月8日
会 長 : 佐久間 裕 章
副 会 長 : 佐藤 大 輔
幹 事 : 坂 本 康 朋
プログラム長 : 篠 塚 慎之介
(会報担当)

11月18日の卓話

「イニシエーションスピーチ」
当クラブ会員 金城 健二様

11月11日の出席率

会員在籍者数 54名
会員出席者数 37名
会員欠席者数 17名
本日の出席率 68.52%

12月4日(金)の卓話

3RC合同例会
(東京臨海西RC創立3周年記念例会)
時間: 12:30~13:45
会場: 東武ホテルレバント東京
4階「錦の間」

《第1189回 例会報告 2020年11月11日》

司会: 小松会員

東京江戸川RC元会長 岡本紀雄様
ゲストスピーカー 虻川良太郎様(当クラブ会員)

- ビジター紹介: 井上会員
秋田将宏様(櫻田会員ゲスト)
金次隆史様(舛本会員ゲスト)



■ 点鐘: 佐久間裕章会長
皆さんこんにちは。今年も残すところ2ヶ月を切りまして、すごく不安の1年だったなと感じています。本日は55人目の新入会員の方に来て頂きました。ありがとうございます。引き続き2020年度は増強の年にしてまいりたいと思います。ぜひ皆様ご協力のほどよろしく願いいたします。

- 国歌斉唱 「君が代」
: ソングリーダー: 伊藤副委員長
- ロータリーソング 「我等の生業」
- 「四つのテスト」斉唱(歌)
- 「ロータリーの目的」東京臨海RCVer. 唱和
: 佐藤大輔副会長



- 来賓・ゲストスピーカー紹介: 佐久間裕章会長
東京江戸川RC会長 後関和之様



- ご挨拶
東京江戸川RC会長 後関和之様
東京江戸川RC元会長 岡本紀雄様



皆さんこんにちは。今年のIMのご案内に参りました。どうぞよろしく願いいたします。3月8日にやる

予定です。当初こちらでやる予定でしたが、船堀タワーホールにいたしました。大ホール、小ホールも使えるということで密にならないという事を考えて、あちらに変えました。3月8日ですが少し良くなるのではという見通しで、この日にしたんですが、どうも今見るとそうはいかないようですが、一応そういうことでやります。基調講演としては水野パストガバナーから「RCに入って良かった事」というテーマで講演をいただいて、それについてパネルディスカッションをして、このクラブは別なんですけど、お辞めになる方もたくさんいるもんですから、そういう人たちにそうじゃないということをご理解いただくために、そういうテーマにいたしました。今のところ予定通りやる予定です。アトラクションとかいろんなことを考えております。皆さん開催されることが決まったら、是非たくさんご参加いただけたらと思います。ただ今後コロナの影響もどうなるかわかりませんので3つの状況を考えております。1つは現状通り進める、懇親会もやる。2つ目は、ちょっと悪化してきた場合IMだけで懇親会は中止。3つは、最悪の場合はレポートだけを提出ということにしております。今、皆さんに家庭集会を開いていただいてRCに入って良かったということを区会毎にまとめていただいて、それをガバナー補佐、海老沼さんに集約して会長に参加していただいてパネルディスカッションを開いて、そこをまとめていくということをご考えております。ですので家庭集会を開いて、その報告をいただけるようお願いいたします。まだまだ先のことなのでどうなるかわかりませんが、1月、2月に改めてこういった形でお伝えに参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

■ 11月の祝い：親睦委員会 尾身委員長

- ・ 会員誕生日 勝間田健一会員、櫻田誠一会員
- ・ 奥様誕生日 坂本康朋会員夫人、村社研太郎会員夫人、田村浩康会員夫人
- ・ 結婚記念日 榎本隆文会員、白幡隆広会員、今井博会員、高橋映治会員、白井正三郎会員、大澤成美会員
- ・ 出席 100% 9年：山田晃久会員
4年：鈴木孝行会員
1年：井上晴貴会員・舛本俊輔会員



・ 「誕生日の歌」：ソングリーダー：伊藤副委員長

・ 1分間スピーチ：櫻田会員

お陰様を持ちまして21日に46歳になります。未だ大人になれていなく長男と言われておりますので、この臨海RCで諸先輩方の立ち振る舞いや経営面など、いろいろ吸収させていただいて大人になれるよう努力していきたいと思っております。今後ともどうぞ

指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。お祝いただきありがとうございますございました。



■ 会長報告：佐久間裕章会長

・ 東京臨海北斗ロータリー衛星クラブを当クラブがスポンサーとしてRIに申請しておりましたが、2020年10月16日付でRI理事会より認可を受けたとの連絡が、国際ロータリー日本事務局より連絡が入りました。衛星クラブは当初18名位からスタートするかなと思ってたんですけど、本日参加されている金次さんご入会おめでとございます。20名でスタートできるという流れになっております。こちらのほうも増強を続けながら運営をして参りたいと思っておりますので、ぜひ皆様、ご紹介できる方・ご友人がいらっしゃいましたらどうぞよろしくお願いいたします。

■ 幹事報告：坂本康朋幹事

- ・ 東分区インターシティ・ミーティング（IM）の仮プログラムを本日、会員皆様のメールボックスに配布しました。会場はタワーホール船堀となっておりますので、当クラブの行事予定表に記載している会場と変更されてますので、行事予定表の訂正をお願い致します。
- ・ 12月4日（金）の3RC合同例会と12月9日（水）の会員忘年会・東京臨海北斗RSC発足式の出欠は、本日中午にお願い致します。
- ・ ロータリーの友11月号、ガバナー月信11月号、バギオだより11月号をメールボックスにお入れしました。
- ・ 11月のロータリーレートは、1ドル=104円です。
- ・ 定例理事役員会を本日例会後13:40より、3階「桐の間」にて開催致します。
- ・ 地区大会についてのご案内を11月5日に会員皆様にメール送信致しました。

■委員会報告

- ・ロータリー財団担当（櫻田委員）
今月よりロータリー財団月間となります。年次地区目標が各クラブに割当てられております。年次寄付が150ドル、恒久寄付が30ドル、ポリオ基金が30ドル、平和フェロシップ20ドル、合計230ドル、これを今月より皆さんから、ご寄付をいただきたく回る予定としておりますので、何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。
- ・米山奨学担当（山田委員）
先月、米山月間ということで、特別寄付を集めさせていただきました。ご予約をいただいている方を含めまして28名306,000円いただきました。ありがとうございます。先月、月間ということで集めさせていただきましたが、まだ、いつでも受け付けしておりますので、私の方にお声かけていただいて、これからでも、未だ、やってない方も数名いらっしゃるの、今月財団のほうも寄付もあり寄付ばかりで申し訳ないんですが、ぜひ協力の方をよろしくお願いいたします。
- ・ロータリー情報担当（入澤副委員長）
秋の家庭集会が11月5日より始まっています。家庭集会報告書の提出をお願い致します。
- ・ゴルフ幹事（榎本ゴルフ幹事）
地区懇親ゴルフ決勝大会の組合せ表と実施規定等を11月9日に登録されている皆様へ転送致しました。また、登録されている皆様は、登録料1万円を臨海RC事務局宛、納入をお願い致します。



■出席状況報告：内海会員

⇒詳細1頁バナー下に掲載。

■ニコニコBOX報告：杉浦会員

(ご意向) インターシティ・ミーティングのご案内にまいました。宜しくお願い致します。:後関和之会長、岡本紀雄元会長（東京江戸川RC）

(ご意向) 本日スピーチさせていただきます。宜しくお願い致します。: 虻川会員

(ご意向) 虻川良太郎会員、本日のインニシエーションスピーチを楽しみにしております。宜しく申し上げます。: 佐久間裕章会長、佐藤大輔副会長、坂本康朋幹事、伊藤会員、今井博会員、井上会員、須藤会員、斉藤会員、尾身会員、小松会員、寺田会員、内海会員、櫻田会員、入澤会員、酒井会員、勝間田会員、田中会員、篠塚会員、榎本会員、白幡会員、柴田会員、白井会員、田村会員、大澤会員、高橋会員、佐久間栄一会員、杉浦会員、山田会員、大西会員、太田会員

【31件 60,000円 今年度累計 1,077,000円】

- 卓話（紹介者：プログラム担当 田中委員）
「イニシエーションスピーチ」
当クラブ会員 虻川良太郎様



皆さんこんにちは。RCのナンバーって言うと52番目ということで、もっと後のほうにイニシエーションスピーチがあるかなと思っていたんですけども、今回皆さんが早く聞きたいということで順番が、2週間前に聞いてやることになりました。準備がうまくできてない部分があると思いますが、どうぞ皆様、温かい目で見て頂けたらと思います。このような時間をいただきまして本当にありがとうございます。頑張ってスピーチさせていただきますので、本日はよろしくお願いいたします。先ほどもご紹介いただきまして、若干ではありますがプロのスノーボーダーをやっておりました。今日は、家族と学生時代の自分、学生時代取り組んでいたスノーボード、今現在どのようにチャレンジしているかということをお話しできればと思います。家族は6人家族で、女の子が3人、9歳、6歳、4歳、2歳の男の子、長男がいます。毎日楽しくガヤガヤとして、嫁の怒鳴り声で朝が始まるような家族です。自分はスノーボードをやっていて一番大きな出来事は、白馬での撮影写真ですが、日本の観光協会、観光庁がインバウンドで日本にどんどん遊びに来てくださると配る雑誌があるんですけども、そこで出させていただいた左側の写真が僕です。あとはハーフパイプというのが選手としてやっていた競技でした。写真はウェアのメーカーのカタログに載せてもらったもので、こちらはキッカーと言ってジャンプ台なんですけど、20mほど飛んでいるときの写真です。スノーボード以外で何をしていたかと言うと、小中高でサッカーをやっておりました。現在はJCのOBとしてサッカー全国大会に出て4年連続2位、名古屋はプロの選手が入っているチームで対戦して負けるという当たり前なんですけど、すごく自分はサッカーが好きで、今もやっております。他には家族でキャンプによく行っています。後は友達のお父さんが作物を作っており、それを一緒に収穫し、美味しく食べたりとかしております。子供がまだ小さいので、保育園の卒園旅行

など自分たちで企画してバス1台貸し切って、ぶどう狩りなど、いろいろ活動しております。あと地元
の神輿を皆で担いだり、毎日忙しく楽しく過ごして
おります。子供の頃の僕をお話しさせていただきます。
小学校1年生の時は学年で足が1番速く、4年
生になった時ファミコンをやりすぎて、ぶくぶく太
って学年で1番遅くなってしまいました。太っていた
ので野球チームに入っていた時に原っぱで転んで
足首を複雑骨折。治って神社で遊んで鬼ごっこで
塀から降りるときに、つまずいて落ちる途中の手す
りにぶつかって肋骨を骨折したりとか、指を数回骨
折したりとか、わんぱくぶりが伺えた小学校時代で
はないかなと思います。6年生になってニューカレ
ードリアと言うところに子供たちだけで行くどこか
の旅行会社が企画した旅行に行っただけでも、
当時1つ思ったことがあります。気づくのが遅すぎ
たのかもしれないんですけども、屋のアクティビ
ティーは楽しく遊んで、夜はずっとゲームボーイとい
うゲームばかりやっていました。そこで何を気付
いたかという、みんなが楽しく遊んでるのに、自
分1人だけ部屋でゲームボーイをしているとみんな
で遊べないんだなということを感じまして、それ
からゲームをやらなくなりました。学生時代、為せ
ば成る、為さねば成らぬ何事もということで、中学
校もサッカー、高校もサッカーをやっておりました。
都立小山台高校という高校に入りまして、成績は3
年間、下から30番を死守しておりました、サッカー
の方も高校の先生から嫌われたのかレギュラーでは
なくイレギュラーを頑張っていました。うちの高校
は運動会、普通は体育祭だと思うんですけども運動
会というのをやっておまして、大体2000人ぐらい
観客が集まるのですが毎年大体救急車が来て誰かが運
ばれる、誰かが骨折するというような激しい運動会
をやっている、そこで自分がなぜか、4団に分れる
んですが、優勝団の団長として頑張れたと自分の中
の1つの思い出となっております。運動会団長をや
ったおかげで学業もあまりできていなかったたんで
すが一浪をして東海大学理学部に入學し、情報数理
学科のところでは遺伝子の数を数えるプログラム作成
のお手伝いをしておりました。ですので4年間で何
とかプログラムの言語だったり、アルゴリズムとい
うのを勉強させていただいて、ある程度は作れるよ
うな形になりました。学生時代にスノーボードに出
会うんですけども、スノーボードの学生協会の会長
のいるサークルにたまたま入りまして、こういうふ
うな組織、こういう風になるとプロになれて、こ
ういう風に活動している、というようなことをいろ
いろ聞いて、プロってこういう風にしたらなれるんだ
なと思って、1年の夏に自分でアルバイトをしてお
金を貯めて、スノーボードの勉強をしに行ってい
きました。旅行会社があるんですけど、スノーボードの先
生もいてしっかり教えてくれると、すごくいい環境
ですよと行ってたんですけども、行ってみたら誰も
いなくて、自分1人でスノーボードの練習をする
という環境だったので、やはり旅行会社というのは、

良い旅行会社の方がいいなとそこで思いました。3
年生になってスノーボードの勉強をして行ったお
かげで部長に就任することができて、部長になっ
たと言うことで大きく何かやりたいなと思って他
のスノーボード協会に加盟している人たちと一緒
に200人位でツアーを組んで行ったり、4年生
では1000人ぐらいの規模でスノーボードのイ
ベントをやったり、そこに来てくれた人にウェア
やスノーボード、ワンボックスの車を景品とし
て出して、すごく盛り上がったことを思い出
します。大学を卒業してIT企業に就職するこ
とになりました。本当に思ったのが、自分がそ
こにいてパソコンを叩いていけばお金がもら
えて、そのままずっとやっていける。でも何
かが足りなかったんですね、そこに1人の女
の子に出会って、その彼女はすごく輝いてい
て、なんでこんなに輝いているのかなと思
ったら、自分の好きなことを精一杯やって
いるんです。一杯やっていると輝けるんだ
なということを感じて、その彼女は大阪から
歌で東京に出てきて、その歌を一生懸命に
やっている姿が僕に刺さったんです。です
ので、自分も何か輝けることをやってい
きたいなと思って、半年でITの会社を退
社してスノーボードをしっかりとやってい
きたいなということで、そのためには実績
がないとダメだなと思って、またこれか
ら本気でスノーボードをやるようになって
いきます。自分は、その時はハーフパイ
プと言う競技、それしかプロというの
がなくて自分はハーフパイプをしっかりと
やるということになりました。28歳まで
ずっとやっていて、それなりの成果を
あげられるようになりました。海外の
大会で賞金も取れるような形でやれる
ようになりました。28歳までスノー
ボードをやって引退というか、選手を
辞めることになりました。怪我がき
っかけで辞めることになりました。や
りたいこともやらしてもらったし、
親父の会社にアルバイトのつもりで
入ろうかなと思って、このきっかけ
というのは何かと言うと、小、中
学校の友達が大学卒業してからア
サヒビールのCMに出てた人間が、
お父さんに親孝行できなかったと
つぶやいたんです。それは何かと
言う、大学を卒業して、そのCMが
終わった後、お父さんがすぐに
亡くなってしまって、これから
親孝行するつもりだったのに
ということを感じました。自分
も親父の会社に入れば、まず
親孝行できるかなという
思いで入りました。ただ
アルバイトのつもりで
したので、ほんとに下
っ端の人間として入
ったのを感じます。下
っ端ですので、どん
どん好きなスノー
ボードを行って
きました。自分の
スノーボードの
チームを作って、
自分がレッスンを
してみんなと
仲間として盛り
上がっていき
ょうという、飲
み会を開催
とかしていま
した。そんな
時に転機が訪
れました。親
父が癌になり
ました。もう
死ぬのかな。
検査を受け
ましたら癌
末期レベル
4の診断、
膀胱がんで、
これはもう
ダメなんだ
なということ
を、その時
思ったこと
を感じます。
姉が医療学
会の事務局
に勤めてお
り、学会の
権威のある
先生に御願
いして3ヶ月
待ちのところ
を2週間ほど
で入らせて
もらい癌の

切除ができて、今も健在です。10年ぐらい経っているんですが再発はなく、すごくありがたい姉だなと今も思っております。会社がどんな会社かと申しますと、月1回夜の7時から12時まで親父から一方的に説教されるという会、みんなすごく下を向いて説教をひたすらされる会なんです、なんで親父の長い会議に参加しても誰も文句も言わず、ウチの会社に来てくれるのかというと、実はうちの親父が他のクレーン屋さんと違って、日通の修理工をずっとやっていて、クレーンが行った先で壊れるというのは昔よくあって、その部分を親父が修理をして復旧できるということで、「ものすごく技術力が高いクレーン屋さんだね、ありがとう、いつもお願いするよ」という形でやってきていたので、その修理の能力という部分、エンジンを載せ変えたり、その技術力をみんなに伝えてあったので、その部分を親父に教えてもらっていたので今があるんだと、みんなしっかり認識していたがために、丸良がすごい他のクレーン屋とは全然違うということを自負していたので、その7時から12時までの説教をあえて聞いてくれたのかかなと思っております。ただその後、今から7年前位に修理を繰り返すとクレーンは壊れても修理、それを繰り返していくと機械が古いです、古い機械をずっと持っている。やはりまた壊れて修理をするということを繰り返すと他の会社はどんどん新しくなっていく、きれいなクレーンに乗っている、修理もしなくていい、だけどうちの会社は、修理は自分たちですけど修理代のお金（給料）も払ってくれない、他の会社よりやることが満載なのに給料が低い。どういうことですかということで、先輩のリーダーの人間が「そろそろもう限界だよ、親父の事は好きだよ、いろんなことを教えてくれたし、だけど親父のやり方にはもうついていけない、だからお前が変えてみるよ」と言われたんですが、その時私はまだまだ下っ端だったので、「先輩がやってくださいよ」と言ったんですが、お前がやれと言われて代表を引き継ぐことになりました。2014年に会社の社長になっています。古い機械がすごい悪いことだと思ったので機械の入れ替えをどんどんしていきました。120トンのクレーン1億7000万円するんですけども、この支払いが毎月250万円うちの会社ではできないと思ったんですがチャレンジしたくて、これが私のチャレンジとなっていきます。2015年に青年会議所に入り、いろんなことを教えてもらいました。僕は国語の能力がすごく低いので、書類を作らないといけない、書類を作るのが青年会議所です。わんぱく相撲の全国大会の実行委員長を任せられて、最初の書類を作るのが全国大会の実行委員長、すごく大変なポジションで、皆さんにご迷惑をおかけしたのを思い出します。あと倫理法人会と言う所にも入会しまして、人との関わりとというのが大事なことで、夫婦は1対の反射鏡、自分がいつも怒っていると嫁も怒る、自分がいつもにこやかだとにこやかに過ごしてくれる。だから僕は掃除をするような形で最近朝起きたら布団を畳んで掃除機をかけて洗濯機を

回してから、会社に来るということをやっております。そんなことを繰り返して2016年NTTドコモから声がかかって車庫を買いませんかということでドコモの基地局が要らなくなった所があったので購入ということができました。チャレンジをどんどんして4月に新卒第1期生の入社をさせることができました。RCに来るきっかけにもなりますけども、建設職人甲子園の東京の理事長やらせて頂きました。伊藤会員が理事長になる前にやっております。この年度も2000人ぐらい集まり大いに盛り上がりました。安倍総理から応援メッセージもいただきすごく心強い思いをしました。7月にわんぱく相撲の全国大会の実行委員長をやり、第三子が8月に生まれました。2016年は本当に忙しい1年を過ごさせていただきました。2017年にはUSJと言うところに孤児の親代わりで、1日一緒に行ってあげたことがすごく思い出になって、すごくいい笑顔を見ながら、楽しそうにしてくれたのを覚えております。コロナが終わったらまた同じようなことをやっていきたいなと思います。法人会の方で子供たちにクレーンに乗りたい子供たちがいるので乗せてあげてと言われて、乗せてあげて楽しむようなことをやりました。こういう社会福祉とか奉仕ということをやっていくというのは、ここのRCに入って思いました。なんでこんなに人が集まってくるのかなと自分ではよくわからなかったですけども、去る者追わず、来るもの拒まずでやってきました。なぜか舗装とか土木のことをやるような監督が入ってきて、毎日ユンボを使うようなら、それを1台買しましょうということで買ったりと、人が集まってくるようになりました。本当に、5年前は14人だったのが今は41人になって、人が集まるというのはすごく大事なんだと常に思っております。これが膨張だったと後で気づくんですが、このRCに入ってすごく気づいたことです。中の質が伴っていない。「売り上げを出しても、作業員がたくさんいても中身が伴ってないと両輪がしっかりしていないとダメだよ」と言われて100のあら探しなどをやっていくと、やはり抜けの部分がたくさんあって、ここ2ヶ月位で社会的にはすごく成長できているのかなと感じております。会社の理念としては「本物を信じられる仲間、会社のゴール、社員、社員の家族、取引先が笑顔になる」みんなへのお願い「人が喜ぶことを楽しみましょう」ということをみんなに言っております。これもよくよく見ると奉仕の事というのが大事になってくるのかなと思っております。最後に、自分は笑顔が大好きで嫁の笑顔が大好きで、この人だったら80歳になっても一緒にいられるかなと思って選び、子供たちも素晴らしい笑顔を作ってくれて、笑う門に福来たる。もっともっと、いい笑顔で進んでいきたいなと思っています。RCでずっと勉強させていただいたのは、まだ若干2ヶ月位ですけども、奉仕の精神によって徳を積んでいけるんだとすごく思いました。これからもどんどん徳を積めるように邁進していきたいと思っています。そして従業員にいつも甘く接するのは

なく、ときには厳しく接することも、すごく大事ななということを勉強させていただきました。これから RC を頑張っていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いたします。

■点鐘：佐久間裕章会長

皆さん先ほど写真をご覧になりましたか。家族が笑って満面の笑みの写真を見たんですけども、坂本幹事が、一瞬だけ見て目をそらしたんですけども、ああいう家庭を坂本幹事は作りたいんだなと隣で見てクスクス笑ってしまいました。虻川さんはスノーボードですごく青春されたということで、私は15の時から仕事をして全然青春をしていないので、今後は青春をしていきたいなと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

■家庭集会 ロータリーの魅力とは？

・第6グループ



1. 例会に参加することで、経営者としての立ち居振る舞いを学ぶことができる。
2. 経営者同士、同じ悩みを共有し、本音で話すことができる。成功の話はいろいろなところで聞けるが、失敗の話はなかなか聞けない。
3. 他のボランティア団体と異なり、職業に対する職業奉仕の理念が含まれている。
4. 年齢制限がないため、年上の経営者の先輩たちの話を聞ける。
5. 様々な業種の方が集まっており、色んな業種の専門家の意見を聞ける。
6. 一年などの単発で終わるのではなく、継続的な奉仕活動がある。
7. 役職を引き受けることによって、やっている時は大変であるが、それが成長に繋がる。また、その成長によって、自事業も活性し、職業奉仕や社会奉仕に貢献していくことができる。
8. 視野が広がる。特に若い人は年上の人と話す機会があまりないため、よい機会となる。また、地区に出ることで上場企業の社長などといった方たちとも知り合うことができる。
9. 各地方での影響力が強い。地元の名士が集まり、入りたくても入れない地域もある。
10. 経営者として会社の社長をやっていると、社内では最も権力を有している人間となる。一方、

ロータリーでは、皆が経営者であり、厳しい叱咤激励を受けることもあり、経営者として磨かれる。

1. 1. 国際的な組織なので、国際的な奉仕活動ができる（バギオの学校への浄水器の寄付など）。台湾やフィリピンの姉妹クラブとの交流がある。
 1. 2. 経営者仲間が、質問すれば、ちゃんと答えてくれる。経営のリアルな勉強ができる。
- ・第1グループ



1. 仕事、家庭、人間関係、全ての答えを見つけられる場所。ロータリーを通して職業の活性化も図りたい。
2. 会社の経営に近い。タイヤの両輪みたいで勉強になる。
3. 仲間作り。ロータリーに入っているだけで会席の価値に見合う仲間たちと出会う。
4. 人生で今までやってきたことを言葉で表現している感じ。実体験していることが魅力。
5. 自分の会社において、いろんな人の話を聞いて、当社にできていないこと、やらなくてはならないことなど、色々な気づきがある。
6. ロータリークラブというよりは、新しいロータリーの形が臨海である。今後は企業経営も時代と共に変わっていき、ロータリークラブの運営も変わっていくような気がする。

当クラブ例会変更

- ・11月25日（水）：休会
- ・12月2日（水）→12月4日（金）に変更
- ・12月4日（金）：3RC合同例会
（東京臨海西RC創立3周年記念例会）

12月4日（金）例会卓話

「障がい者が輝く共生社会を求めて」

～江戸川さんしょうがいフォーラムの
取り組みから～

江戸川さんしょうがいフォーラム 事務局長
一般社団法人パラボールリーグ協会 副理事長
江東園ケアセンターつばき センター長

杉 啓以子様